



七ヶ宿小学校
学校だより

七つの里

【学校教育目標】 かしこく、やさしく、たくましい児童の育成

祝・卒業「新たな日々へ旅立ちました」

3月19日(水)、小雪の舞う空模様の下、在校生と保護者の皆様、御来賓の皆様が見守る中、第11回卒業式が行われました。3名の卒業生の胸の中には、どんな思いがあったのでしょうか。小学校と別れを告げる寂しさ、これまでのたくさんの出来事のなつかしさ、新たな日々へ旅立つ時を迎えた高揚感……。様々な思いを胸に卒業式を迎えたことと思います。式の最中には、在校生と「別れのことば」を交わしました。卒業生も在校生も、お互いに思いを伝え合う姿は感動的で、すばらしいものでした。式終了後には、在校生が見送る中、卒業生が学び舎を後にしました。中には抱き合っ泣きながら別れを惜しむ姿、笑顔で再会を約束する姿、感謝の言葉を伝え合う姿など、たくさんのドラマがありました。その姿は、卒業生が式の中で、全力で歌った「Best Friend」そのものでした。「みんなの笑顔に 何度助けられたら ありがとう Best Friend♪」3名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

これまで子供たちを支えてくださった地域の皆様、いつも全力で子供と向き合ってくださいました保護者の皆様、たくさんの方々のおかげで卒業式を迎えることができましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



七ヶ宿中学校

望湖克己学館だより

【学校教育目標】 「社会をつくり、たくましく生き抜く生徒の育成」

祝卒業！ 8名の卒業生が学び舎を巣立ちました！

3月8日(土)に令和6年度第28回卒業式が挙行されました。多くのご来賓の方々にお越しいただくと共に、温かいご祝辞や思いのこもった送辞、未来への歩みを感じる答辞等もあり、門出を祝うのにふさわしい、素晴らしい卒業式でした。

校長からは、式辞の中で、『卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私が皆さんと出会ったのは、皆さんが中学校2年生のときでしたが、上や下の学年に比べ人数が少ない上に、教室にいる生徒も少なく、一人一人が担う役割も多く大変そうに見えました。しかし、そういう環境だからこそ、他の学年にはない力を付けられたとも感じます。生徒会長となり、人前で話すことが上手になった隼斗さん。入学当時に比べ、とてもたくましくなった健太さん。陸上大会で、豪快な走りを見せてくれた亮司さん。多くの観客の前で、力強い太鼓の演奏を見せてくれたよつばさん。部長として、成長していく姿が見られた烈士さん。生徒会を支えると共に、卓球で大活躍を見せてくれた凌功さん。クラスを支え、スキー教室では次元の違う滑りを見せてくれた董さん。受験に向けた面接練習で、将来の目標を聞かせてくれた一花さん。

皆さんに卒業証書を渡しなが、修学旅行や部活動の大会、生徒会活動や地域での活動の様子が思い出され、とても懐かしく感じます。

先日、3年生を送る会が行われ、お世話になった先生方や後輩達から心温まるメッセージを送られていた卒業生の皆さんは、とても愛されているなぁと感じました。

そんな皆さんへ、その場でも伝えたのですが、このようにしてもらったお返しとして、また、七中の同窓会員になったことも併せて、今後も七中の後輩や七ヶ宿町を応援してほしいということも、再度お願いします。それは、直接的な支援のみならず、皆さんが進む先、携わる仕事や役割において、後輩の目標とする先輩、あこがれる先輩になることでも構いません。そのように、皆さんが、これから進んでいく道で頑張り、その努力が多くの人に力を与え、結果、後輩達や愛する人をサポートできる社会人となることを期待しています。』と、卒業生にメッセージを送りました。

卒業生の皆さん、それぞれの目標や夢に向かって頑張ってください。

思い出に残る3年生を送る会！

3月6日(木)に3年生を送る会が行われました。これまで3年生を送る会実行委員長の佐野鈴之助さんを中心に放課後等の時間を使って準備を進めてきました。会の中では、初めに1、2年生の企画として、全校生徒でカードゲームを楽しみました。その後、3年間の中学校生活を振り返るスライドやお世話になった先生方からのビデオメッセージを見て懐かしんでおりました。また、1、2年生から3年生への感謝の気持ちを伝えるとともに、1、2年生それぞれが思いを込めて絵を描いた手作りのタンブラーが記念品として贈呈されました。会の終盤では、3年生一人一人から後輩へ、自分の経験をもとにしたアドバイスやメッセージを送りました。最後は、1、2年生が作ったアーチの中を少し照れながらも笑顔で退場しました。準備をした1、2年生の気持ちが伝わる、とても温かい雰囲気の3年生を送る会となりました。

